

研究課題名「日本在住外国人の技能実習生と留学生の子宮頸がん検診の受診行動に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

研究の対象者は、実施承認日～2026年03月31日の間に、日本中部地域に滞在する18歳以上、研究内容が理解でき、調査に回答できる技能実習生と留学生です。3か月以内に日本を出国する予定の人は除外です。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：

(1) 技能実習生と留学生の子宮頸がんに対する認識は、子宮頸がん検診の受診行動にどのくらい影響することを明らかにします。

(2) 技能実習生と留学生のヘルスリテラシーと受診意図および受診行動の関連を明確にします。

(3) 技能実習生と留学生の子宮頸がん検診に対するHBMと受診意図および受診行動の関連を明確にします。

研究方法：

本研究では二回調査を行います。1回目の質問票調査後、3か月後に2回目の調査を行います。質問票に回答方法は①「Google フォームの URL から回答」（以下は「Web 回答」）と②「郵送での回答」二つがあります。2回目の回答方法は、1回目と同じ回答方法で回答していただきます。

研究期間：実施承認日 ～ （西暦） 2026 年 03 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：基本属性に関する質問9項目（年齢、国籍、在留資格、来日期間、宗教、教育状態、日本語能力、性交渉相手の有無、経済状態）、対象者の特徴に関する質問4項目（産婦人科の内診を受診歴の有無、HPV ワクチンの接種の有無、子宮頸がんの罹患する経験の有無、子宮頸がん検診を受診する経験の有無）。

測定値：ヘルスリテラシーに関する質問21項目、子宮頸がん検診の健康信念尺度35項目。子宮頸がん検診受診行動の意図2項目。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者に不利益が生じることはありません。

質問票および電子データは研究終了後 10 年間保管し、その後にそれぞれ廃棄します。廃棄の方法については、質問票及び電子データは HDD で、研究終了後 10 年間保管後、電子データおよび Google フォームからのデータは専用のデータ消去ソフトウェアを使用して削除し、物理的破壊をします。郵送での回答した質問紙はシュレッダーで粉砕処理します。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻看護学コース

教授・入山茂美

住所：名古屋市東区大幸南一丁目 1 番地 20 号

直通電話番号：052-719-1574

FAX 番号：052-719-1574

e-mail：iriyama.shigemi.p5@f.mail.nagoya-u.ac.jp

苦情の問い合わせ先：名古屋大学医学部保健学科総務係 052-719-1504